

2024年度 第2回地域事業支援会議 和歌山県士会版

作業で暮らしに彩りを

2024年度の第2回目となる地域事業支援会議が、10月5日(土)、6日(日)にハイブリッドで開催されました。総勢150名近くの方が参加される会議となり、当士会の選任者は、湯川喜裕OT(和歌山リハビリテーション専門職大学)、藤田純OT(田辺中央病院)が参加しました。

地域共生社会において作業療法士が活躍できる場の多様性を知り、活発な意見交換も行われた濃密な1.5日間でした。

山本会長からの挨拶に始まり、谷川常務理事から「協会理念と重点活動項目」、佐藤理事からは「最近の状況と介護予防ケアマネジメント」について発信がありました。その後、市町村担当者配置の速報や士会マネジメントにおける「地域支援事業参画のための士会マネジメントに関するQ&A」の紹介がありました。

2日目は地域事業支援課(運転と地域移動推進班・認知症対策班・スポーツ振興班)の各班長からの事業報告、重層的支援体制整備事業の取り組み紹介、地域づくりに資するOT参画モデル事業の紹介などがあり、包括的な視点での地域支援について考える機会となりました。

第3回目の地域事業支援会議は令和7年3月9日曜日の午前、オンラインの予定になっております。



各事業の報告

1. 全国約1700の市町村担当者配置事業について

モニタリング表の更新とご提出をありがとうございました。

【市町村担当者配置率】

2023年度は約28%

→ 2024年9月現在 66.7% (全国47都道府県、1154市町村に市町村担当者を配置)

※目標 2024年度50%, 2027年度80%

各士会の選任者の皆様には、本務でご多用の中、モニタリング表の更新をいただきました。配置が進んだ士会、様々な事情で配置に難渋されている士会、様々なご事情があるなか集計していただき感謝申し上げます。引き続き配置の促進と配置された担当者の作業療法士が地域に作業療法を提供できる実働が次のステップになります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2. 地域事業参画のための士会マネジメントモデル事業について

【士会マネジメントに関するQ&A】について
全国約1700の市町村へ作業療法を届けるための具体策集の第1弾を協会ホームページに掲載いたしました。最終的にAnserの部分を整理して、士会マネジメントの具体策のカタログとしてまとめる予定です。

【活用のポイント】

これまでのアンケート、グループワークで出されたよくある質問から検索できるようになっています。

ブロック機能を活用して具体的な情報を補い、士会及び市町村の実情に即した方法をご検討ください。

日本作業療法士協会HP

→ 会員向け情報 (協会からのお知らせNEW)
→ カテゴリ

→ 地域社会振興関連 → 地域包括ケアシステム関連
→ 地域社会振興部地域事業支援課【地域包括ケア推進班】

<https://www.jaot.or.jp/seikatukankyou/chii kihoukatu/>

3. OT参画実態調査

各市町村の「高齢者支援へのOTの参画状況」を明らかにするため、Google formにて調査を行います。昨年同様、士会事務局に調査依頼を行います。選任者の皆様には各士会事務局から問い合わせがあった際は、ご対応をよろしくお願いいたします。調査に関する質問窓口を準備しております。

編集後記

和歌山県士会は、県と協働し、県内30市町村に地域リハビリテーション担当者(市町村担当作業療法士)を配置したことを報告しました。他の県士会とも情報交換しながら、市町村担当作業療法士をどのように育成し、どのような動きを求めていくかが今後の課題であることを再確認しました。県内の人材育成としては、事例検討会を中心とした人材育成研修を作り上げていきたいと考えています。
和歌山県作業療法士会 担当：藤田